

航空機器事業のアクチュエーター工場を新設

～将来ビジネス拡大に向け、成長基盤を確立～

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小谷和朗）は、現在岐阜工場（岐阜県不破郡垂井町）敷地内に建設中の EHSV*専用工場及び表面処理工場に続き、アクチュエーター工場を新設します。

当社は、岐阜工場において機体の飛行制御システム『フライト・コントロール・アクチュエーション・システム』を中心に航空機向けの各種装備品を生産しています。新設するアクチュエーター工場は、新たに取得する約 20,000 m²の土地に建設予定であり、建屋面積は約 7,200 m²、2018 年度の完成を目指しています。現在開発中の「ボーイング 737 MAX / 777X」並びに「MRJ (Mitsubishi Regional Jet)」向け製品の量産対応に加え、将来見込まれる需要拡大を見据え、高自動化生産ラインを設ける等、材料から完成品までの一貫生産体制を構築し、品質・生産性の大幅向上を追求します。また、地中熱や太陽光発電等の先進環境技術を積極的に採用し、CO₂排出量を 50%以上削減し、環境性能の飛躍的向上を図ります。

航空機器事業部門は、生産イノベーションの推進によりスマートファクトリーを実現させ、当社の強みである“ものづくり力”に更なる磨きをかけ、中長期的な成長を目指してまいります。

* EHSV : Electro Hydraulic Servovalve (電気油圧サーボバルブ) — FCAS に使用される中核部品